

神経科における看護計画の実際

発表者 宮 沢 悦 子
精神神経科一同

神経科は他の科とは違い患者個々の看護計画以外にレクリエーション、作業等の集団を対象とした計画があり、現在神経科に行っている看護計画を発表します。

1. 個々の患者の看護計画

入院した当日のうちにカルテ等を参照して入院時の看護計画を立てます。翌日のAM9時から毎日行なわれているミーティングにかけます。

このミーティングはその日の日勤者が出席し、処置表などをみて問題のある患者の対策、入院患者の看護計画を発表し検討しあいます。

症例 23才の女性、2才で父親TBで死亡(姉もTBで死亡、母、妹健在)と同時患者も感染、結核性股関節炎、脊椎カリエス、6才頃より歩行不能、又、ろうあ、13才頃まで国立病院入退院のくりかえし13才以後家に入り、元気で身体の方も丈夫になり肥っていった。17才三郷村に母親食堂経営の為移転、性格は本来素直なよい子、13才頃よりひがみっぽくきつくなった。昨年10月~12月家を増築、忙しい為家人の世話が行き届かず、11月頃より手をじっとみたり、手が死んだ、死んでしまいたいなど口走り、食飲しなく洗面入浴せず、血が降りるとか身体がサーサーするなどともいい2月障害年金の積立通帳の間に長い間お世話になりました。このお金は自分の墓代にしてくれと書いた手紙を入れてあり、その後もわずかながら食餌するのみ厭世的になり7月13日当科受診し9月5日入院

診断名は一応、心因反応 約身長1m、体重23kg

看護計画

目 標	入院時問題点	解 決 策
①精神状態を安定	①脊椎カリエス、結核性股関節炎にて歩行不能	①ベットの上で介助できることはさせる
②日常生活支障のないようにする	②ろうあである ③食餌をしない	②筆談により接触(筆記は母親が日常程度教えてある)
③自発性を持たせる	④洗面入浴の拒否 ⑤自殺念慮あり	③配膳は強要せずいつでも食べられるようにしておく、水分量、食餌量調べる ④観察、日常生活の指導

入院20日前後、問題点及び解決策及び実際

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ①食餌時間を配膳後2時間
食育の時間を自覚させる為に | ①ごはんは自分の茶わんに大体一杯程度食べる様にはなったが、
ダラダラしていた為に、その上おかず類にははしをつけず特に味 |
| ②尿閉を訴え、ウロベ紹介、パツ
クカテール使用
膀胱時の抵抗 | ついたものはきらう。主治医と相談、塩分を押えた食餌をと
らせてみることにする。 |
| ③洗面、結髪の自覚 | ②抵抗はなはだしく筆で説得するもなかなかききいれず最後
は強引にしてしまう。 |
| ④特別な患者ではないということ
の自覚 | ③時間を決めて、大体AM 6,00~6,30に看護者がついて行なわせる
④特に日にあたるということをいやがる。半ば強引につれ出すと
あきらめてはいるらしい。外に出したあとは必ず不キゲン
になる。また対人関係、疎通性ができていないこと痛切に感
じられた。 |

10月29日 問題点及び解決策

- 1.不機嫌時の文字の書き方、はっきりせず、なぐりかけをするので文字の練習、ノートを統一させ、
わからない時は何回も書かせるように
- 2.精神的訴え(自分はろうあ、体型が劣っている、妹へのひがみ)に対して患者の存在性を認知しそ
れに対して看護者も協力、自信をもたせるように、筆談のおりに書いて読ませる。本人は手先きが
器用で編物など元気な頃やっていたから、毎日10分~20分間看護者がついてやらせる。自分
でもこれで生活できる自信をもたせる。家族にもこのことに対し面会に来た折々、励ませる様に納
得させ、根気よく働きかけていく。

希望事項

- ① 在員患者の看護計画、一週間に一度位検討しあいたい。
 - ② カーデックスの使用方法を検討
-
2. 集団を対象とする計画 "週間表について"
神経科には話所と患者の話し合いで決められた週間表というのがあります。これには病棟日課表
も含まれております。
月、水、金の午前中はレクリエーション PMは作業
 - ① レクリエーションは毎週(土)の病棟会議で決め、責任者も患者の中より選出され看護者は補佐
的に介助します。
主にソフトボール、貞球大会、ボーリング、輪投げ、ハイキング(城山)、書道

② 作 業

P M 2 時頃より始め、1 時間程度で終わらせます。ガーゼ折り造花、全員参加というのではなく、症状によって出席させ、看護者も共に参加します。たゞ量を大きくするのではなく、一つのことを責任もって行わせ、患者がみずから作業に参加できるように動機づけをすること、やりとげる満足感を味わえるように支持し励ますようにところがけてあっています。

③ 歌 の 時 間 1130～12.00

病棟会議である患者さんが一日一回は大声で歌をうたったらどうかという提案があり、他患も認めお昼ごはん30分前をとり看護学生や患者さんが作成した歌集をみて歌います。

大体患者の中にいつもピアノの弾ける人、ギターをひく人が入院していますので伴奏をとってもらい看護者も出て歌います。

④ 病棟会議について

ここでいう病棟会議とはすべての患者が参加し、自分たちの日常生活をみづからの手で運営していく事をめざし、いろいろの問題について討議し合う集会であり、患者の社会復帰前の貴重な体験となる場でもあります。当病棟では患者ほとんど参加、他には病室医、看護職員が参加、場所はホール、全員が集ったら、自己紹介し出席患者の中より、議長を選出します。補佐及び書記として詰所より1人、議題は患者より看護者の元へ提出されたものなど含めて、先週のレクリエーションの反省及び今週のレクリエーションの予定、その責任者の選出、退院予定者のあいさつ、たまには詰所に対する不満など議題に含まれることもあります。議長が収拾つかなくなったり、又議題の説明が不十分で困惑して意見を求めるような事態が生じた時、職員は発言してもよいが、職員の発言が多いと患者の自由な意見が抑圧されたりするので常に自主的にやるように注意しております。

事 故 防 止 に つ い て

精神病院における事故としては無断離院、自殺自傷、けんか、放火などがあげられ、職員はつね日頃、患者への積極的な関心と建物の構造や整備への配慮などが事故を未然に防ぐ弁になります。薬品、医療器具、刃物など危険物となりやすいの保管や取扱いに十分に留意、つねに患者を安全な環境におくように心がける必要があります。当病棟では自殺念願のある患者には、入院時、入浴中などに刃物等の所持品調べ、防火には火気点検（ガス、電熱器）特に夜間に注意、患者のたばこの火の始末、病棟会議などそのつど火気取扱いについて注意をうながしたり、特に放火ぐせのある患者の行動観察を十分に行ない。時にはタバコはある程度制限したりします。

職員も消火器の使用方法を常に練習したり、誘導などの練習にところがけるようにします。

週 間 表		月	火	水	木	金	土	日
	午 前	レク レー ション 十時～十一時	布巾 交換 九時三十分～ 十時	レク レー ション 十時～十一時	シー ツ交 換 九時三十分～	レク レー ション 十時～十一時	病棟 会議 九時三十分～十時	
		十一時 ～ 十二時 半 うた	うた	うた	うた	うた	うた	うた
午 後	作業 二時～三時 入浴 (男子) 一時～四時	作業 二時～三時 入浴 (女子) 一時～四時	作業 二時～三時 入浴 (男子) 一時～四時	作業 二時～三時 入浴 (女子) 一時～四時	作業 二時～三時 入浴 (男子) 一時～四時	作業 二時～三時 入浴 (女子) 一時～四時		

治療その他の都合により時間の変更亦は中止となる時がありますので御了承下さい。
理髪、美容等御希望の方は申し出て下さい。